

静かな山の黄葉を求めて
文台山～尾崎山

実施日 2009年11月15日(日)
天候 晴
リーダー 馬場 清士
参加者 佐藤金治、一柳昭、山口駿三、伊東勝昭、馬場清士、福島政幸、涌井良明、島本陳重、山崎富美恵、鈴木恵美子、小村井好江、荻野智恵子、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子 計 15名

費用 2,580円
タイム 都留市駅(9:10バス)細野(9:30)御岳神社(9:40)矢花山のコル(10:05)文台山(11:40～12:15昼食)935m峰(14:15)尾崎山(14:43～14:55)TVアンテナ(15:05)東桂駅(16:00)

データ 積算距離 7.85km
総上昇量 874m
活動時間 6時間 31分
移動時間 3時間 27分
停止時間 3時間 7分
移動平均速度 2.3km/h
全体平均速度 1.2km/h

前日の雨も上がり快晴の登山日和となつて、15人のメンバーが都留市駅からバスに乗り、登山口の細野で降りた。山梨百名山に指定されることも無く、ひっそりと注目されることも無い不遇の山を最後の黄葉を求めて歩いた。

バス停の先を暫く行くと、目指す文台山を仰ぎ見ることが出来る。指道標に従い右の道を入り、御岳神社の脇から杉林の登



山道を行く、いきなり急登が続く。ネットで調べたところ、マイナーな山だけに指道標が少ないと思っていたが、やたらと「至

る文台山」と書かれた指道標が出てくる。親切だがちょっと多すぎの感がある。

樹林帯の急斜面を登りきると、文台山と矢花山へ向かう尾根に出る、一息入れて文台山へ向かう。急登の連続をこなし

「127」の石標点を過ぎると、文台山までの最後の急登が待っていた。

東峰を過ぎ三角点のある文台山西峰に着いた。ミスナラに囲まれた広い山頂で



展望はあまり利かはないが、落ち葉の間に木々が見える。市街や高川山が見え、日差しをうけながら昼食を摂る。

文台山から尾崎山へは、進路を変え北斜面を急降下する、ストックを付き木立に捕まりながら、約300mを一気に下る。

鞍部から80mの急登を登り返し935m峰に着く、黄葉が素晴らしい。尾崎山までは緩斜面の尾根を行く、左に御正体山の尾根筋、右に三つ



峠、高川山、九鬼山等中央沿線の山並みと黄葉が見事だ。富士山の白い頭も垣間見ることが出来た。

文台山から尾崎山は指道標が無く、木立に巻かれたテープを頼りに位置を確認し、落ち葉で隠れた踏み跡を探しながら進んだ。尾崎山の山頂は展望も無く、立ち木に「尾崎山」の板切れが括り付けられているだけであった。HP用の写真を撮り東桂の町を目指すが、不明瞭な踏み跡を捜しながら急降下して行く。TVアンテナの立つ草地で小休止し、古渡の集落へ降りた。

国道139号線に出て東桂駅まで歩いた。最後の黄葉と、落ち葉を踏みしめる音を聞きながらの静かな山歩きの日でした。ではちょっときつかったかな?参加された皆さんお疲れ様でした。またご一緒しましょう。

(記・馬場 清士)
(写真提供・涌井良明)

